

6 保育福祉科 夜間主コース トワイライトクラス 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	コミュニケーション I		2
	体育講義	1	
	体育実技		1
	日本語	1	
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	子ども家庭福祉	2	
	社会福祉		2
	社会的養護 I	2	
	保育の心理学	2	
	子ども家庭支援の心理学		2
	子どもの理解と援助		1
	子どもの保健	2	
	子どもの食と栄養		2
	保育の計画と評価		2
	保育内容総論	1	
	保育内容の理解と方法・身体表現遊び I		1
	保育内容の理解と方法・音楽遊び I	1	
	保育内容の理解と方法・造形遊び I	1	
	乳児保育 I	2	
	乳児保育 II		1
	子どもの健康と安全		1
	社会的養護 II		1
	保育実習指導 I a		1
保育実習指導 I b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	子どもと保育	4	
	保育内容の理解と方法・音楽遊び II		1
合 計 単 位 数		23	19
		42	

科 目	コミュニケーション I	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>[授業の目的・ねらい] ・クラスを一つの集団とみなし、集団として成長していく過程を体験学習する。 ・保育者に必要とされるコミュニケーション力を養う。 [授業全体の内容の概要] ・コミュニケーション力を高めるために、レクリエーションゲーム、課題解決学習、ロールプレイ、行事企画等、様々な形の学習を体験する。 ・体験を振り返り、考察を深める。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ・自己洞察力を養い、安定した人間関係を築く。 ・コミュニケーション力を身に付ける。</p>		
授 業 の 画	<p>(前期) 1. オリエンテーション (後期) 1. オリエンテーション 2. コミュニケーションゲームプログラム(1) 2. 学校行事の企画(3) 3. 学校生活とクラス活動（入学から卒業まで） 3. 学校行事の企画(4) 4. 自己紹介プログラム（キャリアカード） 4. 学校行事の準備・グループワーク(1) 5. コミュニケーションゲームプログラム(2) 5. 学校行事の準備・グループワーク(2) 6. コミュニケーションゲームプログラムの振り返り 6. 学校行事の準備・グループワーク(3) 7. 自己分析(1) 7. 学校行事の準備・グループワーク(4) 8. 自己分析(2) 8. 行事企画・準備・実践の振り返り 9. 1対1のコミュニケーション 9. コミュニケーションゲームプログラム(3) 10. グループコミュニケーション(1) 10. 先輩から学ぶ保育現場でのコミュニケーション(1) 11. グループコミュニケーション(2) 11. 先輩から学ぶ保育現場でのコミュニケーション(2) 12. 学校行事のガイダンス 12. 保育実習とコミュニケーション(1) 13. 学校行事の企画(1) 13. 保育実習とコミュニケーション(2) 14. 学校行事の企画(2) 14. 保育実習とコミュニケーション(3) 15. 振り返り・夏季休暇・後期の学校生活に向けて 15. 振り返り・進級に向けて</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>（試験やレポートの評価基準など）出席状況、授業態度、提出物等による総合評価</p>		

科 目	体育講義	講 師	菊池 一英
授業目標	<p>幼児体育の意義と社会的背景を学び、幼児の心身の発育発達に則した、幼児体育の理論を学びます。また、幼児体育の基本である“遊びを中心”とした指導法を実践します。そして、子どもの身近にある運動遊具の管理方法についても学びます。保育現場に即生かせるバラエティーに富んだ体育遊びの数々を身に付けます。</p>		
授 業 の 画	<p>1. 幼児体育の意義と社会的背景、コミュニケーションゲーム（握手で遊ぼう） 2. 保育現場での体育的活動（ビデオ視聴）—自由・設定形態— 3. 体育遊びを年間通して、実施していく〈ねらいとその意味〉 4. 体育遊びへの導入—展開と方法（ふれあい遊び） 5. “ ” （まねっこ遊び） 6. “ ” （マット遊び） 7. “ ” （鬼遊び）※野外指導になります 8. “ ” （ジャンケン遊び） 9. “ ” （リズムダンス遊び）※ゴリラ、きのこ、さんぽ 10. “ ” （運動量の多い遊び） 11. “ ” （造形とのコラボ）※きのこで遊ぼう 12. “ ” （ファンタジー遊び）※ビデオ視聴 13. “ ” （巧技台遊び） 14. “ ” （実技の振り返り） 15. 体育遊びにおける、エピソード記録とは？</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……なし 参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席率、レポート等で総合評価します</p>		

科 目	体育実技	講 師	菊池 一英
授業目標	子ども達の心身の育ちに幼児体育がどのように貢献できるかを学び、更に幼児体育 I で学んだ内容を基本として、様々な実践的スキルを身に付けます。 また、保育所にある運動遊具（マット、巧技台、ボール、縄跳び等）の使用方法和安全管理について学びます。そして幼児向けのリズムダンス遊びを習得し、グループ発表します。最後に運動会に向けての企画案をグループワークで提案します。		
授 業 の 画	1. 「健康」領域での幼児体育の位置づけとは？ 2. 幼児期の身体発達と運動能力の特徴 3. 日常生活における保育者と幼児の「ストレッチ体操」の意義と実践 4. 野外での運動遊びの色々（5分間走と心肺の持久力） 5. 運動遊具を使う遊び（マット） 6. 〃 (巧技台) 7. 〃 (新聞紙ボール) 8. 〃 (ロープ) 9. 野外での鬼遊び色々 10. リズムダンス遊び（グループ発表） 11. 運動会に向けての企画会議（その①） 12. 〃 (その②) 13. 〃 (その③) 14. 〃 (その④) 15. 〃 (プレゼンテーション)		
教科書 及び 参考書	教科書……なし 参考書……その都度指定		
評 価 の 方 法	出席率、レポート、プレゼンテーション内容等で総合評価します		

科 目	日本語	講 師	千原 桃子・原 善・横山 雅代
授業目標	教授内容の概要 日本語の文章を読解する力、書き表す力、日本語の基礎力の向上を目指す。絵本や紙芝居、児童文学等に親しみ、子どもと物語世界の出会いを図れる知識、技能を身に付ける。 絵本のことばから日本語を再発見する。		
授 業 の 画	1. 【千原】オリエンテーション・図書室の使い方 2. 【原】日本語の基礎力①話し言葉と書き言葉、敬体と常体 3. 【千原】本の探し方、情報収集の仕方 4. 【原】日本語の基礎力②修飾語の順序 5. 【原】日本語の基礎力③要約の仕方 6. 【原】レポートの書き方①構想の立て方 7. 【原】レポートの書き方②引用の仕方、文献の示し方 8. 【千原】絵本の選び方 9. 【横山】絵本の中のことば—様ざまな「いないいないばあ」を比較、昔話絵本の文章を比較 10. 【横山】絵本の中のオノマトペ・日本の伝統色（自然を背景にした色、その他雨、風、空の名前なども） 11. 【横山】絵本と詩—詩の絵本のいろいろ、詩を味わう 12. 【横山】絵本で楽しく学ぶ文法・視点と文体のいろいろ 13. 【横山】絵本表現の現代的課題—ことばの表現とリテラシー（主体、子どもの権利、ジェンダー等）、ことばと想像力（多様な意味、議論と対話） 14. 【千原】絵本の読み聞かせ実演 15. 【千原】保育教材に親しむ（パネルシアター、紙芝居、エプロンシアターなど）		
教科書 及び 参考書	教科書……授業時に適宜プリントを配布 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、平常点、授業態度、提出物、発表など総合評価		

科 目	保育原理	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、及び目的について理解する。 ・ 保育に関する法令及び制度を理解する。 ・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・ 保育の思想と歴相的変遷について理解する。 ・ 保育の現状と今後の課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育原理の授業の進め方 保育所の一日を知る 2. 子どもを理解する～(1) 事例を通して 3. 子どもを理解する～(2) 絵本の読み聞かせを通して 4. 保育所保育指針とは 5. 保育所保育指針における基本原則 6. 保育における養護・内容 7. 保育の目標 8. 保育における環境・方法 9. 子どもの最善の利益と保育 10. 子どもの理解に基づく保育の課程保育の計画及び評価(1) 指導計画の作成と展開 11. 子どもの理解に基づく保育の課程保育の計画及び評価(2) 保育の記録と評価 12. 諸外国の保育の思想と歴史、子ども観(1) 13. 日本の保育の思想と歴史、子ども観(2) 14. 保育者の役割と責務 15. 保育の現状と課題 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園 教育保育要領』 チャイルド社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席、授業態度、提出プリント、小テスト等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	桑嶋 晋平
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の思想、歴史について学び、教育にかんする基礎的なことがらを理解する。 ・ 教育といういとなみがいかにしてなりたっているかを学ぶとともに、教育と社会のさまざまな領域とのかかわりを学び、現代教育の諸問題を多角的にかんがえる。 ・ 自身の教育観や子ども観・家族観を問いなおす、また、自身の教育経験をふりかえり、ことばで表現する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 「教育」とはなにか？—教育の理念と目的 3. 諸外国の教育と日本の教育との比較 4. 共同体と人間形成 5. 「子ども」とは誰か？—子どもと家族の歴史的変遷 6. 近代学校はなぜ・どのようにしてできたのか？ 7. 「主体的である」とはどういうことか？ 8. 乳幼児期に教育は必要か？ 9. 教育と環境・空間 10. 教育の環境・空間をデザインする 11. 「遊び」とはなにか？ 12. 実践をふりかえるとはどういうことか？ 13. 対話的な教育—子どもの哲学について 14. 文化を伝えるとはどういうことか？—社会教育・生涯教育の視座から 15. 講義のまとめ—異質な他者との共生 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜指示する		
評 価 の 法	出席状況および各講義後の小レポートによって評価する		

科 目	子ども家庭福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な児童家庭福祉の法、施策、行政などの知識を学ぶ。 ・子どもや家族、家庭についての幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについて理解する。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現できるようにする。 ・自分の考えをまとめ、伝える力を身につける。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、ヒトと人の理解 2. 児童福祉の基本理念(1) 3. 児童福祉の基本理念(2) 4. 健全育成とよい環境(1) 5. 健全育成とよい環境(2) 6. 保育と子育て支援(1) 7. 保育と子育て支援(2) 8. 保育と子育て支援(3) 9. 保育と子育て支援(4) 10. 保育と子育て支援(5) 11. 障害と子育て支援(1) 12. 障害と子育て支援(2) 13. 障害と子育て支援(3) 14. 社会的養護と児童虐待 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育者養成のための子ども家庭福祉』大学図書出版 2018 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な社会福祉の法、施策などの知識を学ぶ。 ・人（あるいは生物としてのヒト）について幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについての理解を深める。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現する力を高める。 ・自分の考えをまとめ、伝える能力を向上させる。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、人類の歩みと福祉 2. 社会福祉の歴史(1) 3. 社会福祉の歴史(2) 4. 社会福祉の歴史(3) 5. 貧困と生活保護制度(1) 6. 貧困と生活保護制度(2) 7. 障害と生活と福祉(1) 8. 障害と生活と福祉(2) 9. 障害と生活と福祉(3) 10. 難病と生活と福祉 11. 老いと生活と福祉(1) 12. 老いと生活と福祉(2) 13. 専門性と援助の方法(1) 14. 専門性と援助の方法(2) 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……相澤譲治編『保育士をめざす人の社会福祉』みらい 2016 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会的養護 I	講 師	八巻 正治
授業目標	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解を深める。 2. 子どもの人権・権利擁護を重視した社会的養護について理解を深める。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解を深める。 4. 社会的養護の対象や形態、専門職等について理解を深める。 5. 社会的養護の現状と課題について理解を深める。		
授 業 の 画	1. 社会的養護の意義と歴史の変遷(1) 社会的養護の理念と概念 2. 社会的養護の意義と歴史の変遷(2) 社会的養護の歴史の変遷 3. 社会的養護の基本(1) 子どもの人権・権利擁護と社会的養護 4. 社会的養護の基本(2) 社会的養護の理念 5. 社会的養護の基本(3) 社会的養護における保育士等の倫理と責務 6. 社会的養護の制度と実施体系(1) 社会的養護の制度と法体系 7. 社会的養護の制度と実施体系(2) 社会的養護の仕組みと実施体系 8. 社会的養護の対象・形態・専門職(1) 社会的養護の対象について 9. 社会的養護の対象・形態・専門職(2) 家庭養護と施設養護について 10. 社会的養護の対象・形態・専門職(3) 社会的養護に関わる専門職について 11. 社会的養護の現状と課題(1) 社会的養護に関する社会的状況について 12. 社会的養護の現状と課題(2) 施設等のマネジメントについて 13. 社会的養護の現状と課題(3) 被措置児童等への虐待防止について 14. 社会的養護の現状と課題(3) 社会的養護と地域福祉について 15. 振り返りとまとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……使用しません。 参考書 ……授業時に随時、お伝えします。		
評 価 の 法	筆記試験はせず、レポート提出によって評価をします。		

科 目	保育の心理学	講 師	前川 圭一郎
授業目標	以下、3点を授業目標にする 〈目標〉 1. 保育実践に関わる発達心理学の基礎知識を学ぶ 2. 発達心理学の知見と保育実践を結びつけながら学ぶ 3. 子どもが人との相互的な関りを通して発達していくことを具体的に学ぶ		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 身体機能の発達、運動機能の発達 3. 乳幼児期の特徴と発達 I 4. 乳幼児期の特徴と発達 II 5. 幼児期の特徴と発達 I 6. 幼児期の特徴と発達 II 7. ことばとコミュニケーションの発達 8. 社会性の発達 9. 情動の発達 10. 遊びの発達 11. 認知の発達 12. 学童期以降の発達について 13. 発達の多様性と凸凹について 14. 就学時の移行について 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……授業でその都度、紹介を行う		
評 価 の 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験レポート等による総合評価		

科 目	子ども家庭支援の心理学	講 師	今泉 岳雄
授業目標	保育者として以下のことを理解する。 1. 生涯発達と初期経験の重要性 2. 子どもの精神保健 3. 家庭の意義と機能 4. 子育て環境を取り巻く社会状況		
授 業 の 画 計	1. 乳幼児期から学童期にかけての発達特徴 2. 思春期から青年期の発達の特徴 3. 成人期から高齢期の発達の特徴 4. 家族システムと家族発達 5. 親としての養育スタイルの形成過程と世代間伝達 6. 子育て環境の社会状況的变化 7. ライフコースとワーク・ライフ・バランス 8. 多様な子育て家庭への支援 9. 特別な配慮を必要とする家庭への支援 10. 子どもを取り巻く生活環境と心身の健康 11. 子どもの心と健康 12. 障害のある子どもの理解と対応 13. 災害と子ども 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『シードブック 子ども家庭支援の心理学』建帛社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況により総合評価		

科 目	子どもの理解と援助	講 師	前川 圭一郎
授業目標	以下、3点を授業目標にする 〈目標〉 1. 保育実践において、実態に応じた子どもひとりひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解をする。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基礎的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション 2. 子どもの発達を把握するためにはⅠ 3. 子どもの発達を把握するためにはⅡ 4. 子どもの発達を把握するためにはⅢ 5. 子どもの行動のメカニズムについて 6. 子どもの気になる行動の理解Ⅰ 7. 子どもの気になる行動の理解Ⅱ 8. 子どもを取り巻く環境としての家族・仲間・保育者 9. 子どもの行動を理解するためのアセスメントについて 10. 子どもの行動を支援について「個人」と「環境」の相互作用から考えるⅠ 対人関係の支援 11. 子どもの行動を支援について「個人」と「環境」の相互作用から考えるⅡ 行動問題への対応 12. 子どもを理解するための「記録」の工夫 13. 記録を基にした連携の工夫と実際〈職員間、保護者間、専門種間の連携について〉 14. PDCAサイクルからみた個別の支援計画について 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……授業でその都度、紹介を行う		
評 価 の 方 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験レポート等による総合評価		

科 目	子どもの保健	講 師	大久保 真理子
授業目標	1. 子どもの発育・発達について理解する。 2. 子どもの心身の健康の維持、増進に必要なことは何かについて考え、理解を深める。		
授 業 の 画	1. 子どもの心身の健康と保健の意義 2. 子どもの身体発育 3. 子どもの運動機能の発達 4. 子どもの生理機能の発達 ①神経系 5. ②循環系 6. ③免疫系 7. ④その他 8. 子どもの心身の健康と生活 ①睡眠 9. ②排泄 10. ③その他 11. 子どもの健康状態の把握 ①日常的な健康観察 12. ②健康診断等について 13. 子どもにみられやすい疾病 14. 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 15. まとめ・試験 ※内容、回は授業の進行等により変更があります。		
教科書 及び 参考書	教科書 ……新基本保育シリーズ⑪『子どもの保健』中央法規 参考書 ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、試験結果等を総合して評価します。		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	深川 卯子
授業目標	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について（特に朝食欠食など）。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する（アレルギーについて含）。		
授 業 の 画	1. 発育期の食生活と栄養について 食育の大切さ 2. 栄養素について 働きと疾病との関係など 小児にとっての栄養不足のまねくものは 3. 炭水化物・食物繊維 4. 脂質 5. たんぱく質 6. ビタミン 7. 無機質 8. 日本人の栄養摂取基準について 9. 食品群について 10. 乳汁期の食生活 11. 離乳期の食生活 12. 幼児期の食生活 13. 幼児期の偏食・食物とアレルギー 14. 現在の食生活の問題点と食育の意義・まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の「子どもの食生活と栄養」』学建書院 ISBN978-4-7624-2877-7 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席、小テスト（3～4回実施）（授業中）、試験による総合評価		

科 目	保育の計画と評価	講 師	佐藤 博美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育における保育計画の意義と重要性を理解する ・ 指導計画の種類と作成方法を理解する ・ 保育計画の評価と改善について学ぶ 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導計画とはなにか 2. 保育実践のための保育者の視点 3. 保育の観察記録① 4. 保育の観察記録② 5. 長期と短期指導計画について 6. 部分指導計画① 7. 部分指導計画② 8. 一日保育指導計画案の立て方と作成① 9. 一日保育指導計画案の立て方と作成② 10. 指導計画のふりかえり 11. 指導計画の評価と改善 12. テスト対策 13. テスト対策 14. テスト 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育の指導計画と実践』 ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし 授業で紹介します		
評価の 方 法	出席状況、授業態度、課題、試験などによる総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	上平 泰博
授業目標	<p>子どもは「遊びの天才」と呼ばれました。大人とは違って心身の動きを一気に加速させ、急成長を遂げていく存在だからです。かつての子どもには「一人前」に育つような工夫と経験を積み重ねる機会がありました。わが家の「宝」として育ち育てられ、貧しいながらも悲喜こもごも地域の宝ゆえ玉石混淆に磨かれました。あるべき子ども像など終焉したと言われてしまった現在、どのような保育内容が新たに提示されるべきかを問いながら考えます。保育現場で格闘している生事例などもグループ討議しながら皆の授業を心がけます。保育に対する問題意識が研ぎ澄まされる講義をめざし、どのような現場にあっても通用する実践力の向上に務めます。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の理念と指針に書かれている保育内容総論の哲学とは 全体計画ガイダンスほか 2. ヒトから人になっていく過程で培われた子どもの生命の存続と言語・文字の獲得まで 3. 人類史の子育てに見られた自然生態と社会関係から表出した挨拶、顔面柔和、ハグ等 4. いつどうしてなぜ保育（所）が必要となったのか、保育法制の実施と整備の現状を考察 5. なぜ保育は福祉行政で教育行政ではないのか、保育と教育の相互補完されている内容 6. 保育者が保育の事業経営に参画することの意義と責任、誰が保育の主体者なのかを問う 7. 多文化の保育現場で起きている言葉、習慣、表現の違いは、共生による多様な創造へ 8. 衣食住による心身の健康と情緒の安定は、喜怒哀楽痛苦を共有できる人間の感性が前提 9. 基本的な生活習慣と生活リズムの確立に心地よさの保育を実現することは不可欠では 10. 多様な諸課題を抱えながら日々を生きる当事者を面前に保育者は何ができるだろう 11. 子どもの心の葛藤と屈折した行動、思いやりと願いを伝えあう癒し効果とは受容なのか 12. 保育実践者の保育スキル向上に必要な協同的保育と家庭力、地域力を重視した保育運動 13. 保育士の働き方改革とは 保育者の学びと主体の形成力はどこに隠されているか 14. 子どもの自立援助と見守り対応に必要な保育目標計画と活動評価の記録作成づくり 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……なし 参考書 ……『保育所保育指針』 その他の文献は必要に応じてお知らせします。		
評価の 方 法	定期試験の結果とします。適宜提出してもらった感想レポートは成績評価の対象とはしません。		

科 目	保育内容の理解と方法・ 身体表現遊び I	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発育・発達に即した、幼児体育の理論を学ぶ。 ・できるようになる喜び、できるように頑張ろうとする心の指導法を学ぶ。 ・子どもの身近にある運動用具の安全な使用法、管理の方法を身に付ける。 ・実践的な幼児体育の遊びのつながりを理解し方法を学ぶ。 ・年齢発達に合わせて、グループワークで授業のまとめを行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児体育の意義、運動指導のポイントと保育者の役割 2. 幼児期運動指針のポイント、幼児体育の始まりの流れ 3. 幼児の健康課題 4. 各運動能力の発達に適した時期、調整力とは 5. 指導者の役割、幼児体育プログラム作成上の留意点 6. 実技（徒手運動、マット運動、じゃれつき遊び） 7. 実技（跳び箱、鉄棒、縄跳び） 8. 実技（親子体操） 9. 実技（風船遊び） 10. グループワーク① 11. 〃 ② 12. 〃 ③ 13. 〃 ④ 14. 〃 ⑤ 15. グループワーク発表 ※授業の内容は進み具合によって変更する場合があります。 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、レポート、ミニテストによる総合評価		

科 目	保育内容の理解と方法・音楽遊び I	講 師	音楽科担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の現場において生活と遊びの中で様々な用いられる、わらべ歌・手遊び歌・リトミックソング・季節の歌や生活の歌など知っておきたいレパートリーを多角的に実践演習していきます。 ・授業時間の前半・後半を45分ずつに分割し、①音楽リズム（個人レッスン形式）②歌あそび（全体授業）の移動入れ替え制で展開します。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（特に個人レッスンでの注意事項等） 2. ①音楽リズム：ピアノ等による個人レッスン ②歌あそび：自分の声を知ろう（呼吸法・発声練習） 3. 〃 わらべ歌・手遊び歌・子どもの歌等の演習 4. 〃 〃 5. 〃 〃 6. 〃 〃 7. 〃 〃 8. 〃 〃 9. 〃 〃 10. 〃 〃 11. 〃 〃 12. 〃 〃 13. 〃 〃 14. 発表曲のリハーサル 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士のためのピアノ入門』（ドレミ出版） 『ポケットいっぱいのおうた』（教育芸術社） 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、実技試験による総合評価		

科 目	保育内容の理解と方法・造形遊び I	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>造形表現の意義を考え、様々な教材を用いて主に絵画分野の課題（講義と実技）を行う。学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜び、面白さを体感する。また制作の過程から保育者と子どもの両方の立場を経験する。</p> <p>そして子どもの主体的活動及び保育者の援助とは何かを考え、自らの保育における造形感、造形技術を養う。</p> <p>* 進行状況に合わせ内容や順番を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 好きな色のチームキャラクター制作、絵地図制作 2. 様々な線遊び（ミニコイノボリ制作から集団制作への展開） 3. 基本図形の組み合わせ遊び（丸三角四角の世界） 4. 色について（色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色） 5. 虹色の貼り絵（黒い紙と色紙） 6. 造形表現について（表現と表出、意義、自己肯定感、個の確立、遊び、多様性） 7. 絵画の発達段階について（なぐりがき期、象徴期、前図式期、図式期） 8. 幼児画の特徴（頭足人、レントゲン画、誇張画、展開描法、多視点画、アニミズム的表現など） 9. モダンテクニック演習 1（絵画遊び：はじき絵、フロッタージュ、デカルコマニーなど） 10. モダンテクニック演習 2（絵画遊び：スクラッチ、スタンプ、拓本、染め、ひっかき絵など） 11. グループによる壁面制作：内容を相談、検討し、表現展のプランを立て必要な道具材料を揃える。 12. グループによる壁面制作：展示作品の制作。（個別） 13. グループによる壁面制作：展示舞台の制作。（グループ） 14. グループによる壁面制作：飾り付けと仕上げを行い完成。全体発表をする。 15. チャイルド祭ポスター制作（掲示物制作） 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>総合的評価。特に出席状況と授業態度を重視（授業内での作品の完成度。制作に対する意欲的な取り組みと真摯な姿勢、適切な片付け、グループ制作での協調性など）</p>		

科 目	乳児保育 I	講 師	藤間 理紗子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育の意義・目的と役割を理解する。 ・ 乳児保育の現状と課題を理解する。 ・ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容を理解する。 ・ 乳児保育における連携・協働について理解する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育とは 2. 子育て支援の現状 3. 保育所と保育所以外の児童福祉施設における乳児保育 4. 0歳児前期の発達 5. 0歳児後期の発達 6. 0歳児の生活と環境 7. 0歳児の遊びと環境 8. 1歳児の発達 9. 1歳児の生活と環境 10. 1歳児の遊びと環境 11. 2歳児の保育 12. 乳児保育の計画・記録 13. 職員間の協働 14. 保護者との連携 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特になし</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	<p>受講態度・出席重視</p>		

科 目	乳児保育Ⅱ	講 師	藤間 理紗子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性をふまえた、基本的な援助や関わりを理解する。 ・ 乳児保育における生活や遊びを具体的に理解する。 ・ 乳児保育における配慮について理解する。 ・ 乳児保育における計画の作成について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々に配慮した援助や関わり 2. 主体性と自己の育ちを大切に保育 3. 乳児保育の一日 4. 生活や遊びを支える環境構成 5. 乳児保育の実際（0歳児の生活と援助） 6. 乳児保育の実際（1歳児の生活と援助） 7. 乳児保育の実際（0歳児の遊びと援助） 8. 乳児保育の実際（1歳児の遊びと援助） 9. 乳児保育の実際（2歳児の生活と遊び） 10. 健康に配慮した保育 11. 安全に配慮した保育 12. 長・短期的な指導計画 13. 個別の指導計画 14. まとめ 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……特になし		
評 価 の 法	受講態度・出席重視		

科 目	子どもの健康と安全	講 師	大久保 真理子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康と安全を守るために必要なことは何かについて考え、理解を深める 2. 保育において適切な保健活動を展開するための基礎的な知識及び具体的な方法を身につける 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育環境の整備、衛生管理 2. 子どもの事故の特徴と安全対策 3. 災害への備え、危機管理 4. 子どもがかかりやすい感染症 5. 感染症の予防 6. 感染症発症時と罹患後の対応 7. 発熱時の対応 8. その他、体調不良時の対応 9. 傷害への対応 10. 応急処置 11. 救命救急処置 12. 3歳未満児への保健的対応 13. アレルギー性疾患とその対応 14. 保健活動の計画及び評価 15. まとめ・試験 <p style="text-align: right;">※内容、回は授業の進行等により変更があります。</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……新基本保育シリーズ⑩『子どもの保健と安全』中央法規 参考書 ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、試験結果等を総合して評価します。		

科 目	社会的養護Ⅱ	講 師	八巻 正治
授業目標	1. 子ども理解を踏まえた社会的養護の基礎的事項について具体的に理解を深める。 2. 施設内養護、および家庭内養護の実際について理解を深める。 3. 社会的養護における支援計画の実際について理解を深める。 4. 社会的養護に関わる支援方法やスキルについて理解を深める。 5. 社会的養護における子ども虐待防止と当事者家庭への支援について理解を深める。		
授 業 の 画	1. 社会的養護の内容(1) 社会的養護における子どもの理解について 2. 社会的養護の内容(2) 日常生活支援について 3. 社会的養護の内容(3) 専門職としての支援スキルについて 4. 社会的養護の内容(4) 自立に向けた支援について 5. 社会的養護の実際(1) 施設養護の特性、およびその実際について 6. 社会的養護の実際(2) 家庭養護の特性、およびその実際について 7. 社会的養護における支援計画(1) アセスメントおよび個別支援計画の作成について 8. 社会的養護における支援計画(2) 記録およびモニタリング&事後評価について 9. 社会的養護に関わる専門的支援スキル(1) 保育活動における支援スキルについて 10. 社会的養護に関わる専門的支援スキル(2) 社会的養護における支援スキルについて 11. 社会的養護の課題と展望(1) 社会的養護における当事者家庭支援について 12. 社会的養護の課題と展望(2) わが国の社会的養護の課題と展望について 13. ニュージーランドにおける社会的養護について 14. 社会的養護における支援者論について 15. 振り返りとまとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……使用しません。 参考書 ……授業時に随時、お伝えします。		
評 価 の 方 法	筆記試験はせず、レポート提出によって評価をします。		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・実習に臨む目的意識、実習生としての常識を身につける。 ・実習日誌の記載方法を体得する。 ・学生自身が立案、作成した指導案や制作物の発表を行う。 		
授 業 の 画	1. 保育実習の概要 2. 保育所の概要と実習生としての心構え 個人票作成 3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解 4. 実習日誌を書く意義と記入の仕方 5. 幼児クラスの実習日誌の書き方 6. 乳児クラスの実習日誌の書き方 7. 実習目標を立てる① 8. 実習目標を立てる② 9. 実習に伴う書類の作成 事務手続きの確認 10. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成① 11. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成② オリエンテーションについて 12. グループワークによる手遊び・絵本の発表① 13. グループワークによる手遊び・絵本の発表② 14. まとめと振り返り 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『保育所保育指針』 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・ 児童福祉施設の入所児、職員に対する理解を深める。 ・ 実習に臨む目的意識、問題意識を育てる。 ・ 実習日誌の記載方法を体得する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設実習の意義と目的 2. 児童福祉入所・通所施設実習の意義と目的 3. 児童養護施設について 4. 乳児院について 5. 知的障害児・者施設について 6. 母子生活支援施設について 7. 実習日誌の理解と演習① 8. 実習日誌の理解と演習② 9. 実習目標を立てる 10. 施設別講義① 11. 施設別講義② 12. 施設別講義③ 13. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、発表、提出物、試験等による総合評価		

科 目	子どもと保育	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の本質、目的、意義を実践的に学ぶ。 ・ 保育所、施設について理解する。 ・ 実習生としての基礎知識、技能を身につけ、実習に期待を持つ。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育所について① DVD視聴 3. 保育所について② 保育教材製作準備 4. 現役保育者による講話 5. 保育現場の見学① 6. 振り返りと発表① 7. 施設について① 8. 施設について② 9. 施設について③（ゲストスピーカー） 10. 施設について④（施設見学） 11. 先輩から学ぶ保育の実際 12. 保育現場の見学② 13. 振り返りと発表② 14. 定期試験 15. 先輩とのグループワーク 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点（無断欠席不可）、ミニテスト、レポート、発表、定期試験等の総合評価		

科 目	保育内容の理解と方法・音楽遊びⅡ	講 師	音楽科担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽遊びⅠで学んだわらべ歌・手遊び歌・リトミックソング・季節の歌や生活の歌等の中から、自分に合ったレパートリーを実践演習の中で増やしていきましょう。そして子どもたちと、遊びの中でどう展開していくのか、子どもの視点を念頭に置いて、考えていきましょう。 ・音楽遊びⅠと同様に、授業時間の前半・後半を45分ずつに分割し、㊤音楽リズム（個人レッスン形式）㊦歌あそび（全体授業）の移動入れ替え制で展開します。 		
授業の画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（特に個人レッスンでの注意事項等） 2. ㊤音楽リズム：ピアノ等による個人レッスン ㊦歌あそび：自分の声を知ろう（呼吸法・発声練習） 3. 〃 わらべ歌・手遊び歌・子どもの歌等の演習 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 発表曲のリハーサル 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……保育内容の理解と方法・音楽遊びⅠで使用したもの。 〈『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士のためのピアノ入門』（ドレミ出版）、『ポケットいっぱいうた』（教育芸術社）〉</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方法	出席状況、受講態度、実技試験による総合評価		